

海外安全対策情報（令和2年度第2四半期）

1 社会・治安情勢

ボツワナ政府は3月末に初のCOVID-19感染者が出たことを受け、4月3日から6か月間の非常事態宣言を発出した。6月末、ロックダウン明けの南アで燃油の需要が一気に高まり、その影響で南アの燃料製造業者がボツワナに対する供給制限をしたことで、6月末からの約1か月間ボツワナにおいて燃油不足が発生し、ガソリンスタンドに車と人の長蛇の列ができるなどパニック状態となった。この状況に対し、ボツワナ政府は、一人あたりの購入量を制限するなどの措置をとった。7月31日、ボツワナ政府はCOVID-19の感染が拡大傾向にあるとして、Greater Gaborone Covid-19ゾーンに同日午前0時をもって3度目のロックダウンを導入することを発表し、同ロックダウンは8月13日深夜まで続いた（1度目はボツワナ全土に対し4月2日から5月20日まで、2度目はGreater Gaborone COVID-19ゾーン限定で6月13日から同15日まで。）

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 正確な統計、犯罪の傾向等は発表されていない。ロックダウン措置の影響で、人の外出が減り、犯罪件数自体は減っていると考えられるが、引き続き注意が必要である。

(2) 邦人被害事案

邦人の被害は確認されていない。

(3) 邦人以外の被害事案

外国人の被害は確認されていない。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ事件に相当する事案は確認されていない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人、外国人の被害は確認されていない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

対日感情は引き続き良好で、大きな変化はなく、日本企業が犯罪の標的とされる可能性は低いと考えられる。